



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月6日

上場会社名 株式会社 ほくやく・竹山ホールディングス 上場取引所 札
 コード番号 3055 URL <https://www.hokutake.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 眞鍋 雅信
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員オペレーション (氏名) 巖 友弘 TEL 011-633-1030
 本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万未満切り捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	186,029	3.0	2,307	20.8	3,224	17.1	2,208	26.6
2019年3月期第3四半期	180,596	3.8	1,909	△6.7	2,753	△4.5	1,744	△5.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 3,176百万円 (76.6%) 2019年3月期第3四半期 1,799百万円 (△30.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	93.81	—
2019年3月期第3四半期	73.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	136,889	53,878	39.4	2,288.62
2019年3月期	125,064	51,101	40.9	2,170.74

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 53,871百万円 2019年3月期 51,097百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	7.50	—	9.50	17.00
2020年3月期	—	7.50	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	241,000	2.5	1,800	△26.8	2,800	△18.9	1,700	△19.0	72.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期3 Q	24,400,000株	2019年3月期	24,400,000株
----------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年3月期3 Q	861,032株	2019年3月期	860,725株
----------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期3 Q	23,539,086株	2019年3月期3 Q	23,625,260株
----------------	-------------	----------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社および当社グループが現時点で入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で各種政策の効果もあり、緩やかな景気回復が続く見通しとなっています。しかし、中国経済をはじめとした海外経済の動向と政策に関する不安定感や市場の変動など、経済の不透明感があります。

医療業界におきましては、2018年4月に実施された診療報酬改定に伴い厳しい環境が続いております。

このような状況の中、当社グループの医療機器卸売事業では、10年先の物流を見据え、最新のマテリアルハンドリング機器などを導入した「ハビア物流センター」が完成し、2020年1月に本格稼働いたしました。介護事業では、今年3年目となる北海道からの受託事業「北海道介護ロボット普及推進事業・介護ロボット展」を、北海道内16ヶ所で開催し、のべ1,500名以上の介護関係者の来場がありました。また、11月には薬局事業各社と医薬品卸売事業、医療機器卸売事業、介護事業が協力し、健康増進を目的に札幌駅前通地下歩行空間で「第2回健康フェア」を行い、多くの方々にご参加頂きました。

以上の状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,860億29百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益は23億7百万円（同20.8%増）、経常利益は32億24百万円（同17.1%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億8百万円（同26.6%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

(医薬品卸売事業)

医薬品卸売事業におきましては、2018年4月に診療報酬改定ならびに薬価引き下げが実施され、さらに2019年10月にも消費税増税に伴う薬価改定が行われたことにより、厳しい市場環境が続いております。このような中、高齢化の進展を背景とした生活習慣病薬、抗がん剤などの分野での新製品の売上は好調となりました。また、商品カテゴリー別では、後発医薬品は使用促進により売上が伸長した反面、長期収載品の売上が減少する傾向が依然続いておりますが、新薬の販売に積極的に取り組んだ結果、売上全体では前年を上回ることができました。利益面では売上増の影響に加えて、販売管理費率の圧縮に努め、増益となりました。

以上の結果、売上高は1,346億87百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は12億20百万円（同20.9%増）となりました。

(医療機器卸売事業)

医療機器卸売事業におきましては、画像診断機器、手術装置関連機器などの買い替え需要が続くなか、大型の備品案件は前年と比べ減少いたしました。また、新物流センターの新築による物件費の増加もありましたが、医療材料消耗品の販売に積極的に取り組んだことや新規事業会社の加入もあり、売上が前年を上回り利益を押し上げました。

以上の結果、売上高は447億88百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は6億62百万円（同10.4%増）となりました。

(薬局事業)

薬局事業におきましては、2018年4月に実施された調剤報酬改定への対応として加算要件を満たす取り組みを行ってきましたが、2019年10月の薬価改定と消費税増税の影響で売上高はほぼ横ばいとなりました。また、コスト削減効果等により利益は前年を上回る結果となりました。

以上の結果、売上高は110億35百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は3億36百万円（同58.0%増）となりました。

(介護事業)

介護事業におきましては、引き続き福祉用具レンタル・販売および住宅改修における営業員の増員・育成の強化を図りました。また、福祉用具サービス計画の作成提案から納品後のモニタリングの徹底まで、一貫した顧客重視の方針により、売上・利益ともに安定的に推移しました。サービス付き高齢者向け住宅の部門におきましては、定期イベントの実施などにより入居者数が安定的に推移したのに加え、不動産部門での堅調な不動産仲介手数料もあり、売上および利益は順調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は25億97百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は3億81百万円（同40.6%増）となりました。

(ICT事業)

ICT事業におきましては、グループ会社各社のソフトウェア開発案件の受注や、医療機関向けの各種パッケージ販売が堅調に推移いたしました。さらにMicrosoft社の基本OS(Windows 7)のサポート切れに伴うハードウェア買い換え需要の順調な受注により、売上・利益共に前年を上回る結果となりました。

以上の結果、売上高は14億59百万円(前年同期比19.7%増)、営業利益は1億74百万円(同271.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産は、前連結会計年度末との比較において以下のとおりとなりました。

総資産は1,368億89百万円(前連結会計年度末1,250億64百万円)となり、118億24百万円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金が72億91百万円、商品及び製品が19億9百万円、有形固定資産が27億25百万円、および投資有価証券が13億52百万円増加した一方、現預金が15億37百万円減少したことによるものです。負債は830億11百万円(前連結会計年度末739億63百万円)となり、90億48百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金ならびに電子記録債務の支払債務が87億27百万円増加したことによるものです。純資産は、538億78百万円(前連結会計年度末511億1百万円)となり、27億76百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益22億8百万円、およびその他有価証券評価差額金9億52百万円の増加があった一方、配当金の支払3億91百万円があったことによるものです。

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末から15億37百万円減少し、193億76百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は20億4百万円(前年同期比28.1%増)となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益33億41百万円(同22.1%増)、仕入債務の増加81億79百万円(同5.1%減)、減価償却費7億51百万円(同8.8%増)などがあった一方、売上債権の増加69億11百万円(同10.4%減)、たな卸資産の増加19億10百万円(同83.6%増)、未収入金の増加5億43百万円(前年同期は2億44百万円減少)、賞与引当金の減少2億81百万円(前年同期比5.3%増)などの要因により相殺されたものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は31億17百万円(前年同期比88.8%増)となりました。これは主に有形固定資産の売却により1億69百万円(前年同期は9百万円)、連結子会社の取得により1億1百万円の資金を獲得した一方、有形固定資産の取得で31億66百万円(前年同期比118.0%増)、無形固定資産の取得で2億73百万円(同164.6%増)の支出があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は4億24百万円(前年同期は1億33百万円の獲得)となりました。これは主に配当金の支払3億91百万円およびリース債務の返済31百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月6日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,913	19,376
受取手形及び売掛金	47,268	54,560
商品及び製品	15,577	17,487
仕掛品	0	5
その他	6,562	6,545
貸倒引当金	△28	△32
流動資産合計	90,294	97,942
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,322	8,156
土地	7,329	8,257
建設仮勘定	763	303
その他(純額)	542	966
有形固定資産合計	14,958	17,684
無形固定資産		
のれん	2,119	1,989
ソフトウェア	501	500
その他	92	212
無形固定資産合計	2,714	2,702
投資その他の資産		
投資有価証券	15,543	16,896
長期売掛金	361	278
破産更生債権等	0	0
長期貸付金	314	295
繰延税金資産	316	443
退職給付に係る資産	12	45
その他	763	783
貸倒引当金	△214	△183
投資その他の資産合計	17,097	18,559
固定資産合計	34,770	38,946
資産合計	125,064	136,889

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	67,437	74,729
電子記録債務	276	1,711
1年内返済予定の長期借入金	2	2
未払法人税等	504	1,111
賞与引当金	809	531
役員賞与引当金	128	82
返品調整引当金	53	53
その他	1,345	1,423
流動負債合計	70,557	79,645
固定負債		
長期借入金	22	20
繰延税金負債	1,963	1,941
再評価に係る繰延税金負債	120	120
退職給付に係る負債	529	538
長期未払金	283	292
資産除去債務	267	270
その他	219	180
固定負債合計	3,405	3,365
負債合計	73,963	83,011
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	11,821	11,821
利益剰余金	34,123	35,931
自己株式	△607	△607
株主資本合計	46,337	48,145
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,016	6,968
土地再評価差額金	△1,100	△1,100
退職給付に係る調整累計額	△156	△142
その他の包括利益累計額合計	4,759	5,726
非支配株主持分	4	6
純資産合計	51,101	53,878
負債純資産合計	125,064	136,889

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	180,596	186,029
売上原価	166,900	171,547
売上総利益	13,696	14,482
販売費及び一般管理費		
荷造費	681	733
給料	5,991	6,144
役員賞与引当金繰入額	87	83
賞与引当金繰入額	444	466
退職給付費用	260	253
法定福利及び厚生費	1,033	1,079
賃借料	220	228
その他	3,067	3,184
販売費及び一般管理費合計	11,786	12,174
営業利益	1,909	2,307
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	246	261
受取事務手数料	382	400
不動産賃貸料	99	105
持分法による投資利益	67	77
貸倒引当金戻入額	35	28
その他	121	152
営業外収益合計	957	1,029
営業外費用		
支払利息	2	0
不動産賃貸原価	76	69
遊休資産諸費用	22	21
その他	13	21
営業外費用合計	114	112
経常利益	2,753	3,224
特別利益		
固定資産売却益	—	41
投資有価証券売却益	—	19
負ののれん発生益	9	179
特別利益合計	9	239

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
特別損失		
固定資産売却損	4	0
固定資産除却損	2	4
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	—	118
減損損失	—	0
段階取得に係る差損	18	—
特別損失合計	25	123
税金等調整前四半期純利益	2,737	3,341
法人税、住民税及び事業税	1,046	1,715
法人税等調整額	△55	△583
法人税等合計	991	1,131
四半期純利益	1,746	2,210
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,744	2,208

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,746	2,210
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37	952
退職給付に係る調整額	16	14
その他の包括利益合計	53	966
四半期包括利益	1,799	3,176
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,797	3,174
非支配株主に係る四半期包括利益	1	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,737	3,341
減価償却費	690	751
のれん償却額	131	130
負ののれん発生益	△9	△179
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△45	△29
受取利息及び受取配当金	△251	△265
支払利息	2	0
持分法による投資損益(△は益)	△67	△77
固定資産売却損益(△は益)	4	△41
固定資産除却損	2	4
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△18
投資有価証券評価損益(△は益)	—	118
減損損失	—	0
段階取得に係る差損益(△は益)	18	—
売上債権の増減額(△は増加)	△7,710	△6,911
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,040	△1,910
仕入債務の増減額(△は減少)	8,619	8,179
未払消費税等の増減額(△は減少)	160	3
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△27	△27
賞与引当金の増減額(△は減少)	△267	△281
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△57	△46
未収入金の増減額(△は増加)	244	△543
預り金の増減額(△は減少)	52	16
その他	△264	△554
小計	2,921	1,661
利息及び配当金の受取額	251	265
利息の支払額	△2	△0
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,605	77
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,564	2,004

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,452	△3,166
有形固定資産の売却による収入	9	169
無形固定資産の取得による支出	△103	△273
無形固定資産の売却による収入	0	—
投資有価証券の取得による支出	△30	△32
投資有価証券の売却による収入	—	68
関係会社株式の取得による支出	△10	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	26	101
事業譲受による支出	△109	—
貸付けによる支出	△0	—
貸付金の回収による収入	20	18
その他	△1	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,651	△3,117
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△0	—
長期借入れによる収入	650	—
長期借入金の返済による支出	△6	△1
自己株式の増減額(△は増加)	△88	△0
配当金の支払額	△393	△391
リース債務の返済による支出	△27	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	133	△424
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	46	△1,537
現金及び現金同等物の期首残高	20,693	20,913
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,740	19,376

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売事業	医療機器卸売事業	薬局事業	介護事業	ICT事業	その他	
売上高							
外部顧客への売上高	123,604	43,214	10,732	2,433	579	32	180,596
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,944	340	9	6	639	1,264	9,204
計	130,548	43,555	10,741	2,440	1,219	1,296	189,801
セグメント利益	1,008	599	213	271	46	377	2,517

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	2,517
セグメント間取引消去	△452
のれんの償却額	△116
たな卸資産の調整額	△38
四半期連結損益計算書の営業利益	1,909

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

2 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売 事業	医療機器卸 売事業	薬局事業	介護事業	I C T事業	その他	
売上高							
外部顧客への売上高	127,591	44,433	11,026	2,499	445	32	186,029
セグメント間の内部売上 高又は振替高	7,096	355	9	98	1,013	1,458	10,030
計	134,687	44,788	11,035	2,597	1,459	1,491	196,060
セグメント利益	1,220	662	336	381	174	516	3,291

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	3,291
セグメント間取引消去	△833
のれんの償却額	△113
たな卸資産の調整額	△37
四半期連結損益計算書の営業利益	2,307

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

医療機器卸売事業において、2019年4月1日付で株式会社ノバメディカルの株式を取得いたしました。これに伴い、第3四半期連結累計期間において、1億79百万円の負ののれん発生益を計上しております。